NPO 法人　子育てほっとねっと

ほっとねっと通信

第 16 号(秋)令和 3 年・11 月発行

日に日に日が短くなっていく季節ですが、日常生活には少しずつ少しずつ日が差し、明るさを取り戻しつつあるように感じるこの頃です。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。

今年、法人設立 10 年を迎える子育てほっとねっと。昨年度は残念ながら総会も書面議決となってしまいましたが、今年度は感染対策をとりつつ対面で行うことができました。今年度はこれからのほっとねっとについて考える年にしようと、７月 30 日には「子育てほっとねっとの未来図を描こう！ミーティング」を行いました。ミーティングに先立ちこれまで 10 年の歩みを年表にして模造紙にまとめ、当日それをみんなで見ながら、これからこんなことをやってみたい、こんなふうになっていたらいいなという夢を出し合いました。

みんなで顔を合わせ話をするとアイディアがアイディアを生み、広がっていきます。数々あがったアイディアのなかからさっそく取り組んでみようということになったのが「みんなのテーブル２」です。新型コロナウイルス感染拡大が懸念されるなか長く休止となっていたこども食堂「みんなのテーブル」。まだまだ食卓を囲める状態でありませんが、ほっとねっとが作りたかったのは「食堂」というよりだれもが気軽に立ち寄れる「居場所」だったのでは？ということになり、形を変え「みんなのテーブル２」として再スタートすることにしました。何をするかは活動しながら…まずはリサイクル市から始めてみようと 10 月 16 日（土）に知音食堂にて第１回目を開催しました。これから毎月第３土曜日の１０：００～１２：００OPEN の予定です。みんなでゆっくりじっくり育てていきましょう。ぜひお立ち寄りください。各回の内容はホームページでお知らせいたします。

NPO 法人子育てほっとねっと　理事長　西田由記子

みんなのテーブル 2　リサイクル市開催

子供服

おもちゃ

雑貨

ハロウィンの工作

遊びコーナー

参加者の声
コロナの影響でお祭りやイベントがなく、これに参加できてすごく楽しい♪

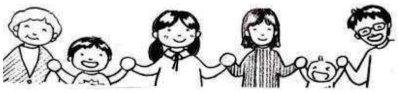
10月16日(土)あいにくのお天気の中でしたが、多くのボランティアの方に参加いただきリサイクル市が開催されました。皆さまからお預かりした子供服や雑貨などを並べ、子どもの遊びコーナーも準備しました。ハロウィンの工作コーナーがとても人気でした。

～NPO 法人「子育てほっとねっと」会員募集中～

当法人の目的に賛同し、活動推進する個人および団体の方。下記までご連絡下さい。

連絡先　TEL: 090-9230-8755　　FAX:　0287-47-6252　住所:那須塩原市西大和 6-2

HP:　http://hottonetto.com/　　E メール:　hotnet@tbz.t-com.ne.jp



年会費：正　会　員	2000 円
ささえ会員	1000 円 (1 口)

再開後は毎日とてもにぎやか

４月から順調に始まった“ま～る”でしたが、今年度も国の緊急事態宣言が発令され８月２０日から９月３０日までの期間閉鎖になっていました。
閉鎖期間中は始めたばかりのインスタグラム(tsudoi22marumaru)で動画や情報発信をすることができました。家で遊べる手作りおもちゃの製作キット「アンパンマンカード」「お芋ほり」(写真)も配布しました。製作キットはとても好評だったので再開後も配布しています。スタッフは室内の清掃、環境整備を利用者が少しでも楽しく安心して過ごせるようにと考えながら行うことができました。再開後の“ま～る”は毎日とても賑やかで久しぶりに顔を合わせたお母さん達は子育て談義に花を咲かせています。現在の利用は午前・午後、各６組程度の利用制限となっていますが、平均 4.5 組の利用があり毎朝予約の時間になるとすぐに電話が鳴り始め断らなければならないことも多くあります。子育て家庭にとって“ま～る”のような、いつでも遊べる・話せる場所はとても大切だと改めて感じています。まだまだ気を抜けない日々が続いていくとは思いますが、子育て家庭がほっとできる場所として今後閉鎖するようなことが無いことを望んでいます。

アンパンマンカード

お芋掘り

まーるスタッフ　高根澤、後藤、沢登、手塚

わらべ歌の動画配信

緊急事態宣言に伴い、今年も８月 20 日から９月 30 日まで 41 日間ほっぺを閉鎖することになってしまいました。閉鎖中も電話やメールでの相談業務は続けていて、相談だけでなく話したくなったらいつでも連絡してくださいとはお知らせしているものの、そこには高い壁があると昨年の閉鎖の経験から学びました。そこで今年はスタッフ一同知恵を絞り、閉鎖中でもみんなが連絡しやすくする方法を考えました。おうちあそびシリーズと題して、親子でできる工作キットの配布（おさかなつり、サンドイッチをつくろう、ながぐつどれにしようかな？)、ほっぺの本をテーマ別に袋詰めした絵本セットの貸し出し、わらべ歌の動画の配信に初挑戦しました。

お魚釣り工作キット

これをきっかけに連絡をくれた親子がのべ 20 組を超え、近況を聞いたり、相談を受けたりすることができました。工作キットを家で作って遊んでいる写真をメールで送ってくれた親子もいて、大きな励みになりました。これからも工夫で乗り切っていきたいと思います。

サンドイッチをつくろう工作キット

ほっぺスタッフ　西田、星、八木沢、川島

ファミリーサポートセンター　養成講座をオンラインで行いました！

Zoom での養成講座

昨年度コロナ禍で開催できなかったサポート会員養成講座&再受講講座を、今年度はオンラインで開催することができました。オンラインということで若い世代の参加にもつながりました。講師の先生の中には「やっぱり対面の方がいいですね」という感想をいただいた方もいらっしゃいましたが、先生方もご参加の皆さんも、パソコンからでも十分お人柄が伝わる講座となりました。センターとしても初の試みだったのでいくつか課題もありましたが、これを機会に今後もオンラインを活用して様々な場面で活かしていこうと思います。

手元も見られ好評でした

また、女性労働協会から全国講習会参加の前に各ファミサポの紹介動画の作成を薦められ、私たちも挑戦してみました。それをアレンジしてホームページでも紹介できるようにと考えています。委託最終年度も上半期が終わりました。次も受託できるようにスタッフ一同力を合わせて活動していきたいと思います。

スタッフ　久保、熊久保、菊地、金光、武居、長瀬

ホームスタート　ステップアップ研修

疑似体験講座

４月から９月のホームスタートの活動は、利用申し込み７件あり訪問は３４件でした。緊急事態宣言などもあり途中で終了したケースもありますが、「ビジターさんが来てくれることで、少しずつ自分の気持ちの整理がついた。誰かが来てくれるというだけでも少し片付けようという気持ちにもなれた。利用してよかった。」と言ってくれた方もいました。

６月１９日には、ホームビジターのステップアップ研修として「カラフル BOX」による知的障がい発達障がいの疑似体験講座を行いました。参加者は１５名でした。軍手をはめて財布からお金を出すなど障害のある方の感覚などを実際に体験してみることでいろいろな気づきがありました。「理解の第一歩はお互いを知ること。障がいがある、ないにかかわらず大切なことだと想いました。」「障がいを持っていなくても、人それぞれ苦手なものがあり、その特性が強く出ているのが障がいだと思いました。よく聞くこと、知ることが基本だと思いました。」など感想がありました。

視覚の疑似体験

１０月１３日には、ビジター交流会として、西那須野の南町児童公園に行ってきました。参加者は６名でした。地域の公園を知り今後の活動に活かしていけたらと思います。

オーガナイザー　高根澤、磯

集団託児　　笑顔で終われる喜び

今年度は定期の依頼があり、計４回、のべ 11 人の集団託児を実施しました。我が子を家族以外に預けるのが初めてという方が多く、お母さんもお子さんも不安の中での集団託児スタート。託児スタッフの方々は、あの手この手でお子さんと楽しい時間を過ごし最後はみんな笑顔で帰られます。安心して講座を受けられると喜んでいただけたこと、無事に託児ができたことを嬉しく思います。

コロナ禍の中、集団託児の依頼は少ないですがコロナウイルスが落ち着き、集団託児スタッフとして登録いただいている皆さんと一緒に集団託児ができることを心待ちにしております。また、その際にはご協力の程よろしくお願いいたします。お会いできる日を楽しみにしています。

集団託児スタッフ　　武居

チャリティーウォークに参加しました

１０月２日（土）台風一過の快晴のもと大田原フードバンクのチャリティーウォークへ大人６名子ども２名で参加しました。今年のほっとねっとからは寄付金３万円、食品寄付は大きな段ボール箱２箱分です。事務局の冒頭の挨拶で「１日１食、２食の家庭からの SOS…」との話は胸にずしっときました。このチャリティーウォークは知ろうとしなければ身近で起きていても気づかないこと、知ってはいても働きかけのきっかけやつながる方法がわからず行動に移せないことを体現できるいいチャンスでした。

コースは黒羽支所→那珂川水遊園→光丸山法輪寺→黒羽支所の全２１ｋｍで、歩かない生活を送っている自分が完歩できるか不安でしたが、“歩かなければ気づかない発見”を楽しみながら歩けました。次の週、自分の歩幅が大きくなっている！というオマケもあり、歩く楽しさに目覚めた１日でした。　　　　金光

子育てほっとねっとへのご支援に感謝申し上げます

◆法人への寄付金（４月～10 月）
個人の方々から　　54,339 円

◆書損じハガキ、未使用切手
16,074 円

◆資源回収（段ボール・アルミ缶・新聞）
8,880 円

資源回収、書き損じハガキ、未使用切手など引き続き集めています。スタッフまでお声掛けください。

きずな BOX

ファミサポ・まーる・ほっぺに「きずな BOX」設置しました

ご家庭で使う予定のない食品がありましたらご寄付ください。定期的にフードバンクに届けます。募集する食品（賞味期限が2か月以上残っている常温保存可能なもの）

編集後記:時が止まっているかのような錯覚だった1年半ですが、小さかった姪の子も、成長して園児となります。私も可能なかぎり老いていくのではなく成長していきたいと思います。何か始めるのには年齢なんて関係ない！フィットネスインストラクターの 90 歳の女性に刺激を受けています。熊久保